

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2017

環境、防災など学ぶ

ミラクルソル協

ミラクルソル協会(原裕理



原理事長

事長)は23日、佐賀県唐津市の唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で、2016年度第24回「環境と防災と維持管理」技術研修会を開いた。佐賀県シオファイバー協会、佐賀県ニューレスパ協会(ともに原裕理会長)、SWライナー工法協会(種市敬一会長)が共催した。

研修会には発注機関、コンサルタント、建設会社の技術者ら約120人が参加した。原理事長は、「多目的環境材料ミラクルソルの環境負荷低減技術」と「地球温暖化と斜面防災とSHS永久アンカー工法」をテーマに講演し、ミラクルソル開発の背景や目的、製造工程、特性などを紹介し

た。

地球温暖化では、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書を取り上げ、「地球温暖化は疑う余地がなく、温室効果ガスの削減と持続のため緑を増やす工事が必要」と強調した。斜面防災では、14年8月に発生した広島市の土砂災害を例

に、「安全な場所にする防災、安全な場所に住む防災を官民が連携して推進する」よう促した。SHS永久アンカー工法については、地盤に定着させる定着長部をステンレスシースで被覆し、アンカー頭部を防錆油とオイルキャップで被覆する二重防錆構造の優位性を強調した。

このほか、日特建設九州支店技術部の近藤保徳次長がシオファイバー工法とニューレスパ工法の概要や留意点、岡三リビックリバイブテクノ部の鳥飼貴人部長が管更生工法(SWライナー工法)について説明した。講師らによるパネルディスカッションも行われた。